



☆よちよちルームについて☆

よちよちルームは3つのグループに分かれています。月齢は目安になっています。ひとりで歩く、ハイハイをするといった身体の発達や睡眠など、それぞれの生活リズムに合わせて、子どもたちが十分に楽しめるということを大切にしながらグループに参加してもらえたらと思います。

○りんごグループ（3ヶ月～7ヶ月頃）

首がすわり、寝返りやすりばいをするようになるなど、だんだんと体がしっかりしてきます。授乳やおむつ替え、ふれ合いなどを通して、身近な大人との安心できる関係を育んでいきます。そのような中で、あやしかけに笑い返したり、声を出したりする姿が出てきます。

○いちごグループ（8ヶ月頃～1歳4ヶ月頃）

ハイハイや歩いたりができるようになり、おもちゃをつかもうと移動するなど動きが活発になってきます。そして、「欲しい！」「行きたい！」といった自分の思いを指さしたり、声や言葉で伝えたりするようになり、大人の簡単な言葉がけもわかるようになってきます。

○ばななグループ（1歳5ヶ月頃～2歳）

ひとりで歩けるようになり、お部屋や散歩先でいいものを見つけをする姿が増えます。身近な大人と一緒に見たり触ったりしながら、思いを膨らませていきます。また、大人の言葉がけをわかって行動したり、言葉で応えたりなどのやりとりも楽しめるようになってきます。



○ばななグループってどんな時期？

参考文献

『保育に役立つ！子どもの発達がわかる本』
著：金子龍太郎、吾田富士子（ナツメ社）

からだ

- ・歩く距離が長くなり、早歩きや小走りなどの変化がつけられる
- ・物をまたぐ、しゃがむなどの動作ができる
- ・積み木を3～5個程度積み上げられるようになり、並べることも始める
- ・丸、三角、四角などの基本的な図形を認識しはじめる

こころ・ことば

- ・30～50語前後の言葉を使える
- ・2つの単語をつなげて「二語文」を話しはじめる
- ・名前を呼ばれると「はい」と返事ができる
- ・音楽を聞きながら真似して歌ったり、リズムに合わせて踊ったりする
- ・自我が芽生えて「ジブンデ」と自己主張しはじめる
- ・「自分のもの」に執着して独占したがる

○ばななグループの子どもたちは、何でも「ジブンデ」と主張する自我が芽生えてくる時期です。「自分はこうしたい」という気持ちが強まり、それを実行する行動力もあるので、大人の考えや指示に従わないことが多くなり、自分の思い通りにならないとだだをこねることもあります。大人にとっては困った姿とも思いがちですが、自分の意図がはっきりしているということは、相手の意図もわかってきます。相手の意図がわかるからこそ「自分はこうしたいんだ」とだだをこねて、相手に納得してもらおうと試みている姿とも言えます。だだをこねる姿に、「言うことを聞いてくれなくて困る」「子どもの思い通りにしすぎたらわがままな子になるかもしれない」など大人にとっては悩む姿ではありますが、自分の意図をどうにか相手に伝えようとしているんだなと思うと、嬉しく、愛おしく感じますよね。子どもが自分の意図をしっかり主張している時には、「どっちにする？」「わかったよ、じゃあこれはどう？」とまずは子どもの気持ちをしっかりと受け止めたり、自分で判断できるように提案してみたりする声かけをしていくと、気持ちの切り替えにつながっていきます。